



〈11月15日 ふるさと遠足（湿地公園）〉

1・2年生は、学校近くにある「黒崎天満宮」や「黒崎永田湿地公園」などに行きました。

「黒崎天満宮」を知ってはいても行ったことはないという児童も多くおり、興味深く周辺を探検しました。「天満宮」について詳しく書かれた看板を見つけると、大発見のようにしげしげと読んでいました。

「湿地公園」では、地域の方から、湿地公園や湿地公園に住む生き物についてのお話を聞きました。園内の水生生物を捕まえてもらい、名前やその特徴について教えてもらったり、触らせてもらったりすることができました。子どもたちは、湿地公園に思ったよりもたくさん生き物がいることに驚き、その魅力にどんどん引き込まれ、目を輝かせていました。

実際にその場所に訪れることや地域の方との交流を通して、子どもたちはふるさとのよさをより深く感じることができました。



〈11月28日 秋のわくわくランド〉

1年生は、秋の木の実を使ったおもちゃを使って、近隣の保育園児と交流をしました。「秋のわくわくランド」と名づけたこの交流では、1年生の4人がそれぞれ「けん玉やさん」「どんぐりごまやさん」「マラカスやさん」「絵合わせやさん」のお店に分かれて、園児に遊び方やコツを教えました。交流する中で、園児が分かるように、動作を交えて説明したり、優しく言葉をかけたりすることができました。最後に園児から「楽しかった」「小学校に入学したい」等の感想を聞き、1年生の子どもたちも喜びの表情を浮かべていました。

今回の経験で達成感や成就感をもつことができ、お兄さんお姉さんとしてまた一つ成長につながりました。

